

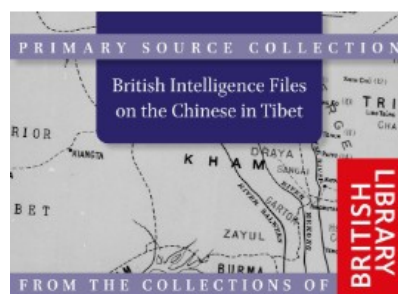
■チベット・中国・英国、三者の交錯する思惑を読み解く、大英図書館の一次資料群

チベットにおける中国勢力に関する英国諜報ファイル 1900～1950 年頃 British Intelligence Files on the Chinese in Tibet, c. 1900-1950

アジア研究の空白を埋めるー英国インド省の機密ファイルが語るチベットの半世紀

本コレクションがなぜ重要であるかという点、英国側の三者——インド政府、インド省、外務省——が、それぞれ異なる利害関係を抱えながら対応していた様子を示している点にあります。北京の英国大使館からの見解、そして後に戦時中の重慶からの見解は、しばしばデリーやインド省の見解と対立していました。

長年にわたり、英国側は「中国の宗主権の承認は、チベットの自治の中国による承認を条件とするべきである」という自ら課した難題を抱えながら、いずれの概念も明確に定義することを避け続けました。その間、チベットは半独立の状態にあり、インド政府の役人を通じた英国の干渉と支援を受けながら独自の道を歩んでいました。支援の拠点はギャンツェやガルトク（シッキム）に置かれ、後にはラサの英国代表部がその役割を担っていました。



本コレクションは、1903～04年のカーズン卿による「前進政策（フォワード・ポリシー）」に始まります。これはロシアの影響に対する緩衝国としてチベットを確立することを目的としており、この時期の関連資料はすべて外務省によって印刷されていました。その後、ロシアを遠ざけるための交渉、さらには中国からチベットへ帰還した第13代ダライ・ラマの動向が記録されています。また、1911年の辛亥革命後にチベットが中国と決別し、1912年のシムラ会議、およびチベットの国境画定に関する詳細な記録も含まれています。さらに興味深いのは、4人の若いチベット人を英国のパブリックスクールで教育し、「近代化の先駆者」とする試みの詳細を記したファイル群です。また、チベットへの入境が英国によって厳しく管理されていた経緯を記録した大規模な資料も収録されています。

1920年代から1930年代にかけて、英国によるチベットの内政支援が行われ、事実上の半独立状態が続きましたが、第二次世界大戦期には中国国民党政府によるチベット領有の主張が再び懸念されるようになりました。この時期の重要な資料として特に興味深いのは、1937～1939年にかけての現ダライ・ラマ（第14代）の「発見」に関する記録です。本コレクションは、1947年のインド・パキスタンの分離独立、そして中国共産党の勝利による英国の政策の完全な転換をもって終結します。

大学・学術機関向け

買い切り(Outright Purchase)・同時アクセス無制限

※大学・学術機関向け IP 接続・同時アクセス無制限でのご利用となります。

※Archive 買い切りの年間管理費(Annual Hosting Fee)は不要です。

※正式な見積価格は最寄りの弊社まで別途ご用命ください。

トライアルも承ります!! 詳細お問い合わせは弊社まで

日本総代理店 極東書店

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

今回復刻されたファイルおよび関連する極秘印刷物は、インド省記録の「政治・秘密部門 (Political & Secret Department)」の資料の一部を構成しています (軍事部門とその第二次世界大戦の派生物である戦争参謀本部からの3つの項目を除く)。

これらのファイルには、インド政府の外務部門 (Foreign Department) およびインド国内のその他の機関、さらにロンドンの外務省から送られた多様な文書が含まれています。また、インド省内で作成された議事録、コメント、返信なども併せて記録されています。

1982年、英国外務・英連邦省 (Foreign & Commonwealth Office) は、インド省図書館および記録部門の管理を大英図書館へ移管し、現在、これらの資料は大英図書館の「東洋・インド省コレクション (Oriental & India Office Collections)」の一部として保存されています。

■文書のタイプ別に全8セクションに整理されたアーカイブ

1. Younghusband Mission to the Revolution, 1903-1912
2. Revolution in China, 1911-1915
3. Simla Conference and the 1914 Convention
4. Internal Affairs and Boundaries
5. Travellers and Entry Control
6. Trade, 1904-1949
7. Education for Modernisation, 1912-1947
8. Fourteenth Dalai Lama, Second World War, and Communist China, 1933-1950

20世紀前半にロンドンのインド省で蓄積されたファイルや関連する極秘印刷物は、中国の現在のチベットにおける立場の歴史的背景を理解するためのユニークかつ貴重な一次資料群となっています。

